

～聖火 希望の架け橋を渡る～

# 東京五輪聖火リレー in 南阿蘇



3月25日、福島県から始まった東京五輪聖火リレー。日本全国を巡る聖火は、19番目の県として5月5日に熊本県にやってきました。熊本県での初日はあいにくの雨模様でしたが、2日目となる南阿蘇村などで実施された5月6日は日本晴れ、まさに聖火を歓迎しているような空模様でした。

益城町から受け取った聖火で南阿蘇村では10時47分から聖火リレーを開始。3月7日に開通したばかりの希望の架け橋「新阿蘇大橋」を渡り、11人と1組のランナーが聖火をリレーし次の阿蘇市へ聖火をつなぎました。この南阿蘇村にとっての世紀の瞬間を特集にて紹介します。



## ランナーの声



東海大学九州キャンパスチーム  
代表 津田航士郎さん(先頭左)  
永野智大さん(先頭右)

熊本地震で被災した(旧)東海大学阿蘇キャンパスの仲間に向けて「こんなに南阿蘇は復興している」ということを伝えたいと思い走りました。

熊本地震を風化させてはいけない、今後も東海大学生のみんなには南阿蘇村との交流を続けていってほしいです。

阿蘇地域やお世話になってきた黒川地区の皆さんに私たちの元気な姿を見せられて良かったです。





① 聖火リレーのフラッグを大津町から応援に来てくれた赤ちゃんと一緒にパシャリ ② 地元ランナー浅尾比呂加さんの応援隊のみなさん) ③ 沿道からの声援に手を振りながら走る地元ランナーの宮田鉄平さん ④ 山本広文さんから聖火を受け取った後にポーズをとる地元ランナーの中尾有沙さん、ポーズは「皆さんの心にありがとう」という意味を込めたとのこと ⑤ 第一走者の船木崇史さん(写真左)から聖火を受け取る地元ランナーの河津謙二さん(写真右) ⑥ 徳永知花さん(写真左)と浅尾比呂加さん(写真右)の地元ランナー同士の聖火受け渡し ⑦ 聖火リレーの最後に東海大学キャンパスチームの皆さんと記念撮影

### 中尾(鈴木) 有沙さん (写真後ろは夫の鈴木祥さん)

新阿蘇大橋を走ることができて本当に胸がいっぱいになりました。夫に押ししてもらいながら走ったことも良い思い出になりました。

沿道で応援してくれた知り合いや両親をはじめ多くの皆さんに支えてもらって、今私はここにいると実感しながら感謝の気持ちを持って走りました。

東京パラリンピックに車いす陸上で出場するという目標は叶いませんでしたが、今後もパラリンピックという舞台に立てるように頑張っていきたいです。



### 高瀬大輔さん

5年前の熊本地震で地元の立野は甚大な被害を受けて笑顔が消えてしまったように感じていましたが、今日は立野の皆さんの素晴らしい笑顔を見ながら走ることができて本当に良かったです。

震災からの5年間は苦しい思いもしましたが、今立野はこんなに元気になることができました。コロナ禍で大変な世の中ではありますが「いつか明るい未来が待っている」と思って皆さん頑張ってくださいたいです。